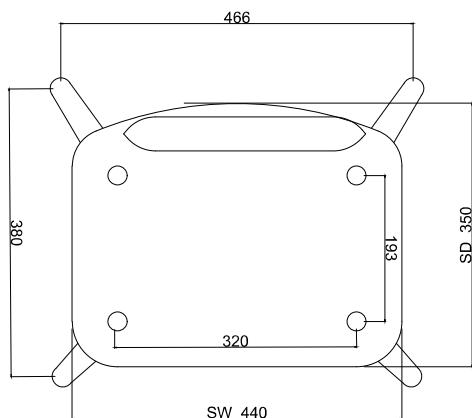


年輪の椅子

寸法: W492 × D405 × H720

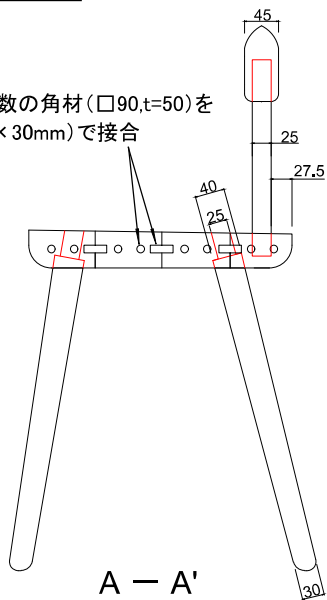
素材: 京都府内産 杉

仕上げ: 蜜蝋ワックス

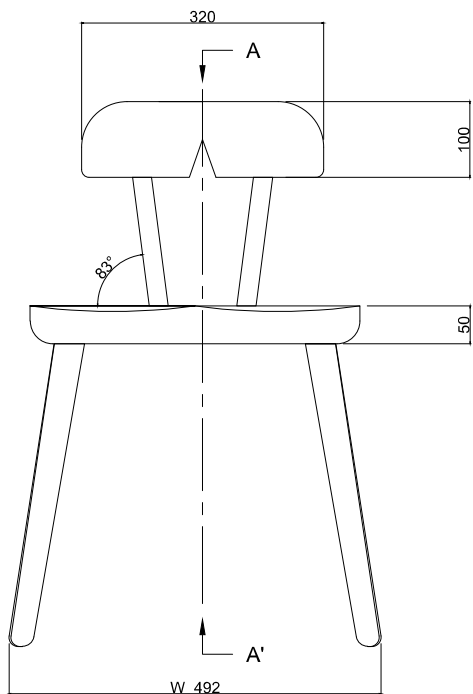


平面図

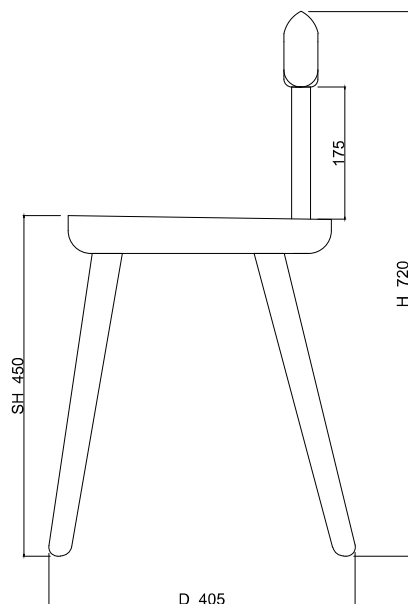
座面は、複数の角材(□90,t=50)を
ダボ(Φ10×30mm)で接合



A - A'



正面図



側面図

S = 1/5



「年輪の椅子」は、杉の間伐材を使用して製作した椅子である。

市場に出まわっている家具を見ると、節がなく木目の通った“綺麗な材”のみが使われて製作された家具を良く目にする。もちろんそれでも十分に良いのだが、木にはもっと様々な表情があることを知って貰えたらと思い、あえて“節”や“もめ”などのある間伐材を使用して製作した。

特徴としては、座板に使われる部材を年輪が見える面を上にした同士で接着させることで、木の個性を楽しめる仕様にしたことである。「何かこのグルグルした椅子は面白そう」「ずっと見ていると目が回りそうですね」など、会話のきっかけになって貰えれば幸いである。

実的な面では、座面の角度や背もたれの形状・位置などを人間工学に基づいた設計にしており、長時間いても疲れずリラックスして座れるようにした。総重量も3.7kgと軽量なため、大人から子どもまで楽に持ち運びが出来る。座面を含めて強度のかかる部分は厚みのある部材を使用しているが、比重の軽い杉を使用しているからこそこの重量で実現できた。

また、下図のように木材をカットすることで、一本の間伐材(長さ2m×口90mm)から製作することが可能であり、材料を無駄なく使用できることもこの椅子の特徴の1つである。

